

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	奈良県	事業実施主体	奈良県、野迫川村	地域再生計画名	魅力ある緑豊かな村づくり計画
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	野迫川村建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	H27	年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	年間観光入込者の増加	25万人	H27	25.5万人	H30	25.3万人	26万人	R2	4.8万人	△	3	2	R元年度までは順調に増加したものの、R2年度は新型コロナウイルスの関係で激減したため、最終目標値を達成するまでには至らなかった。
	指標2	年間間伐面積の増加	100ha	H27	103ha	H30	95ha	105ha	R2	107.4ha	○			村の重点施策として取り組んでおり、目標値を達成した。
	指標3	搬出間伐による木材生産量の増加	960m3	H27	970m3	H30	79m3	1,000m3	R2	1,150m3	○			台風災害により、中間目標は低迷したが、最終実績は目標値を達成した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H・R）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	村道整備事業（整備延長）		900m	116	772	当初計画に対し、最終実績は、おおむね計画を達成した。								
	林道整備事業（整備延長）		1,270m	517	950	当初計画に対し、最終実績は、おおむね計画を達成した。								
その他の事業	林道維持管理等整備工事（単独）		林道平川釜落線改良舗装工事			林道が整備されることにより利用者の交通の利便が図られた。								
	野迫川村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（単独）		きのこの村づくり事業			特産品の増加により観光収入の増加が見込まれる。								
	臨時単独道路改良事業（県）		県道高野天川線道路改良工事			村道と一体的に整備することにより交通の利便が図られた。								
計画外で独自に実施した事業	林道改良開設等整備工事（補助）		林道ゴットロ谷線改良舗装工事			道が整備されることにより利用者の交通の利便が図られた。								
	道路改良等整備工事（補助）		村道上垣内立里線改良舗装工事			道が整備されることにより利用者の交通の利便が図られた。								
	林道維持管理等整備工事（補助）		林道北股弓手原線改良工事			道が整備されることにより利用者の交通の利便が図られた。								
④評価方法	計画に記載した数値目標に関係する部署および有識者により、最終の実現状況に関する評価検討を行う。													
⑤事後評価の公表方法	野迫川村ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画の目標である観光振興や森林整備の推進の達成に向けては、村道及び林道の一体的な整備は必要不可欠であり、地元住民からのニーズも高い。加えて路線選定の観点からも、本地域は村道及び林道を総合的に整備する効率性が高く、総合的整備による相乗効果の発揮も期待されることから本交付金制度を活用するメリットは大きかった。しかし、観光事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んでおり、全国的な問題であるため回復には時間を要すると思われる。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画の目標である整備計画はおおむね達成出来ており、道路整備により基幹産業の林業振興については、さらなる向上が見込まれる。新型コロナウイルス感染症による落ち込みが続いているが、マスメディアの効果によるものなのか、観光振興が良好な時期が長く続いたため、回復するため新たな拠点整備などの取り組みを行っている。林業振興及び観光振興という、両基幹産業の振興による地域再生を図るため、今回の道路整備は有効な手段であると思われる。													